

PEOPLE WITH DISABILITIES FACILITY

[障がい者施設]

Design
安心して使える
デザイン性

心と身体を安定させる
工夫のあるデザイン

Comfortable

安心して使える
快適性

ケガや事故を未然に防ぐ
快適な環境づくり

Quality
安心して使える
耐久性

長期使用できる耐久性を
実現する高品質設計

オリバーでは、障がい者施設向けに家具をご提案する際には「デザイン性」「快適性」「耐久性」の3点を重視し、安全で安心できる環境づくりに応えています。

安心して使える
デザイン性

ホームテイストのデザインで、
安心できる生活へ

知的障がいや、発達障がいのある人に対して、施設が安心して生活できる環境であることを感覚的に伝えなくてはなりません。施設利用者が自宅に滞在しているようなホームテイストの環境づくりが大切です。例えば木製の家具を多用した落ち着いた雰囲気のある空間プランは、本人が暮らしている生活の場を再現する意味でも、とても効果があります。障がい者同士がお互いにコミュニケーションを図れるように、団らんができる「場」を設けた家具配置の設計プランを推奨しています。

安心して使える
快適性

衝動的な行動によるケガや
事故を未然に防ぐ

施設利用者が日々の生活をより快適に過ごせるように、オリバーでは使いやすく清潔感のあるインテリア空間を提案しています。障がい者施設では、食事の時以外は家具を移動し、さまざまな身体症状の方が不自由なく安心して過ごせるために広いスペースを確保することがあります。そのシーンを想定して、オリバーでは移動や収納のしやすさを考慮した家具を開発、製造しています。また素材についても、抗菌を施すなど衛生面に配慮した家具もご用意しています。

安心して使える
耐久性

施設使用を想定した耐久試験で
高品質な安全の実現へ

木製家具を長く使用できるように、オリバーでは独自の耐久試験を実施しています。例えば発達障がいの方の中には、椅子に座った状態で日常的に運動を繰り返す方がいます。特にこの負荷に対する強度検証に重きを置き、通常では実施しない破壊（限界）試験を行い、どこから不具合が生じるのか定期的に検証をしています。また、カラオケなどの過酷な環境に対応した家具づくりのノウハウを生かし、ソファには底抜けしにくい構造を採用。利用者の安全や、施設側の買い換え経費の抑止などを含めたトータルなサポートを行っています。